

家読だより

発行：山都小PTA

平成26年12月3日（水）、家読推進プロジェクト代表 佐川二亮（つぐすけ）氏をお招きして「家族で読みニケーション～家読（うちどく）で深める家族の絆～」と題し、山都小学校家庭教育講座が開催されました。

今回参加された方の感想をご紹介します。

本日は佐川先生のお話、大変良かったです。ありがとうございました。日頃から子供に「もっと本を読みなさい」と、私が言うばかりで、私自身が本を読んでいる姿をほとんど見せていなかったと思います。仕事や家事の忙しさにかまけて本来読書は嫌いなわけではないのだけれど、子供にばかり「読みなさい」と言ってもこれでは子供が読むわけはありませんね。改めて気付かされました。佐川先生の「家読」の進め方などを参考に、ぜひ我が家でも家読を実行してみたいと思いました。ちょうど今週は「ノーテレビ・ノーゲーム」週間でもあるので今日からさっそく、一冊の本を決めて読みたいと思います。そしてこれをきっかけにより一層、家族のコミュニケーションを深めていきたいです。また、学校図書や公民館の図書を多く利用したいです。



親も一緒に取り組むことが大切だと分かり、子供にばかり読書を進めるのではなく家族全体で、ぜひやっていきたいと思いました。



もう少し、子供が小さいころに読み聞かせをしてあげれば良かったと思いました。でも、3歳のクリスマスプレゼントに子供が主役の手作りの絵本を作ってあげたものを今でも開いている事があり、そんな姿はうれしく思います。今、言葉では「本を読みなさい」とか言うだけで一緒に読むことなどないが、これから少しずつ時間をつくり取り組んでいきたいと思います。

